

第4回

学校施設整備に関する調査特別委員会

資料

嘉麻市教育委員会

令和2年8月19日（水）

目次

1. 施設整備計画及び小中連携・一貫教育への取組み
について ⇒P3
2. 概算事業費及び事業スケジュールについて
⇒P4
3. 小中一体型校整備事業について ⇒P5
 - ・発注方式について
 - ・配置計画について
4. 学校プール施設整備の方向性について ⇒P9

1. 施設整備計画及び小中連携・一貫教育への取組みについて

平成20年3月 嘉麻市学校施設整備基本構想

平成21年9月 嘉麻市学校施設整備基本計画

平成27年5月 第2次嘉麻市学校施設整備基本計画検討会議発足（内部会議）

- ▷学校施設改修計画の検討
- ▷小中一貫教育の検討
- ▷学校給食施設の検討

平成30年6月 嘉麻市学校施設整備基本計画（改訂版）

平成30年10月 嘉麻市小中一体型校施設整備基本方針

令和元年8月 碓井中学校区・稲築中学校区
小中一体型校施設整備基本計画

令和2年2月 稲築東中学校区
小中一体型校施設整備基本計画

平成18年度 教育基本法改正（教育振興基本計画策定）

平成20年度 学習指導要領改訂（脱ゆとり教育）

平成21年度～ 第1次嘉麻市教育振興基本計画（嘉麻市教育アクションプラン）

- ▷小中学校間の人事交流
- ▷中学校区での組織づくり

平成24年度～ 第2次嘉麻市教育アクションプラン
▷学力向上や生徒指導の取組みなどにおいて小中連携を推進

平成27年度～ 第3次嘉麻市教育アクションプラン
▷研究指定校制度により、校区としての取組みの意識化
▷小中連携・一貫教育の重要性を認識し、具体的な実践への取組み

平成30年度～ 第4次嘉麻市教育アクションプラン
▷中学校区型の小中連携事業を推進
▷全ての教職員による協働体制を整備
▷小中連携・一貫教育への理解と取組みを促進
▷小中連携・一貫教育への具体性を高める

令和2年2月 **嘉麻市教育基本方針**

- ▷中学校区単位を基本校区とした小中一貫教育の導入
- ▷小中一体型校舎が整備された基本校区は、義務教育学校へ移行

2. 概算事業費及び事業スケジュールについて

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	概算事業費 (学童分内数)	国庫補助金 (概算)	起債 一般財源
碓井中学校区	業者選考	校舎設計 (10か月)	校舎建設 サブアリーナ 学童建設 (14か月) 関連工事設計	小体育館改修 小校舎解体	運動場 駐車場整備	約39億円 (約1.7億円)	約11億円	約28億円
稲築中学校区	業者選考	校舎設計 (10か月)	校舎建設 (14か月) 関連工事設計	中校舎解体 給食セ解体 学童建設 小校舎解体	来校駐車場整備 サブアリーナ建設 中体育館改修 運動場 駐車場整備	約61億円 (約2.8億円)	約16億円	約45億円
稲築東中学校区	業者選考	校舎設計 (10か月)	校舎建設 サブアリーナ 学童建設 (14か月) 関連工事設計 管理棟仮校舎	中体育館改修 中校舎解体	運動場 駐車場整備	約42億円 (約1.6億円)	約11億円	約31億円
継続費年割予定額	約17億円	約57億円	約33億円	約26億円	約9億円	約142億円 (約6.1億円)	約38億円	約104億円

3. 小中一体型校整備事業について

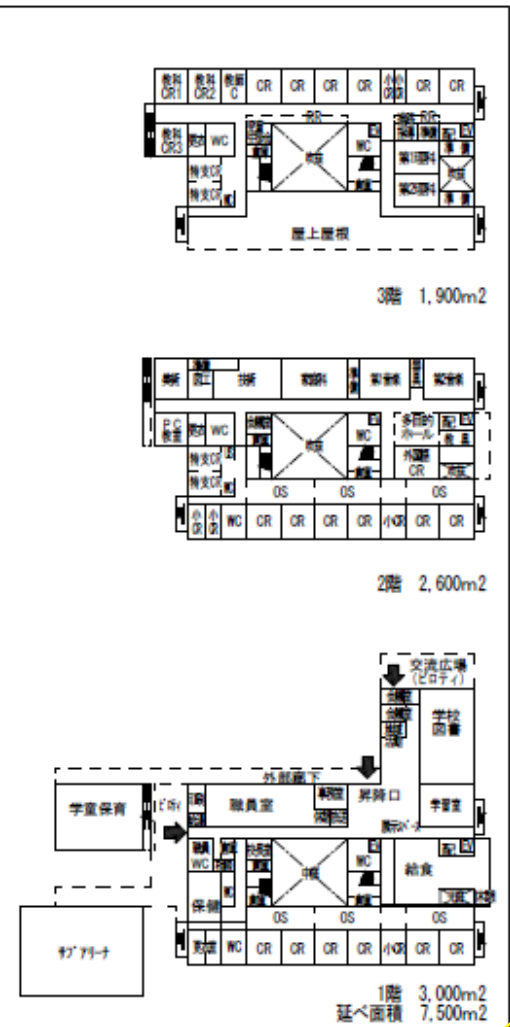
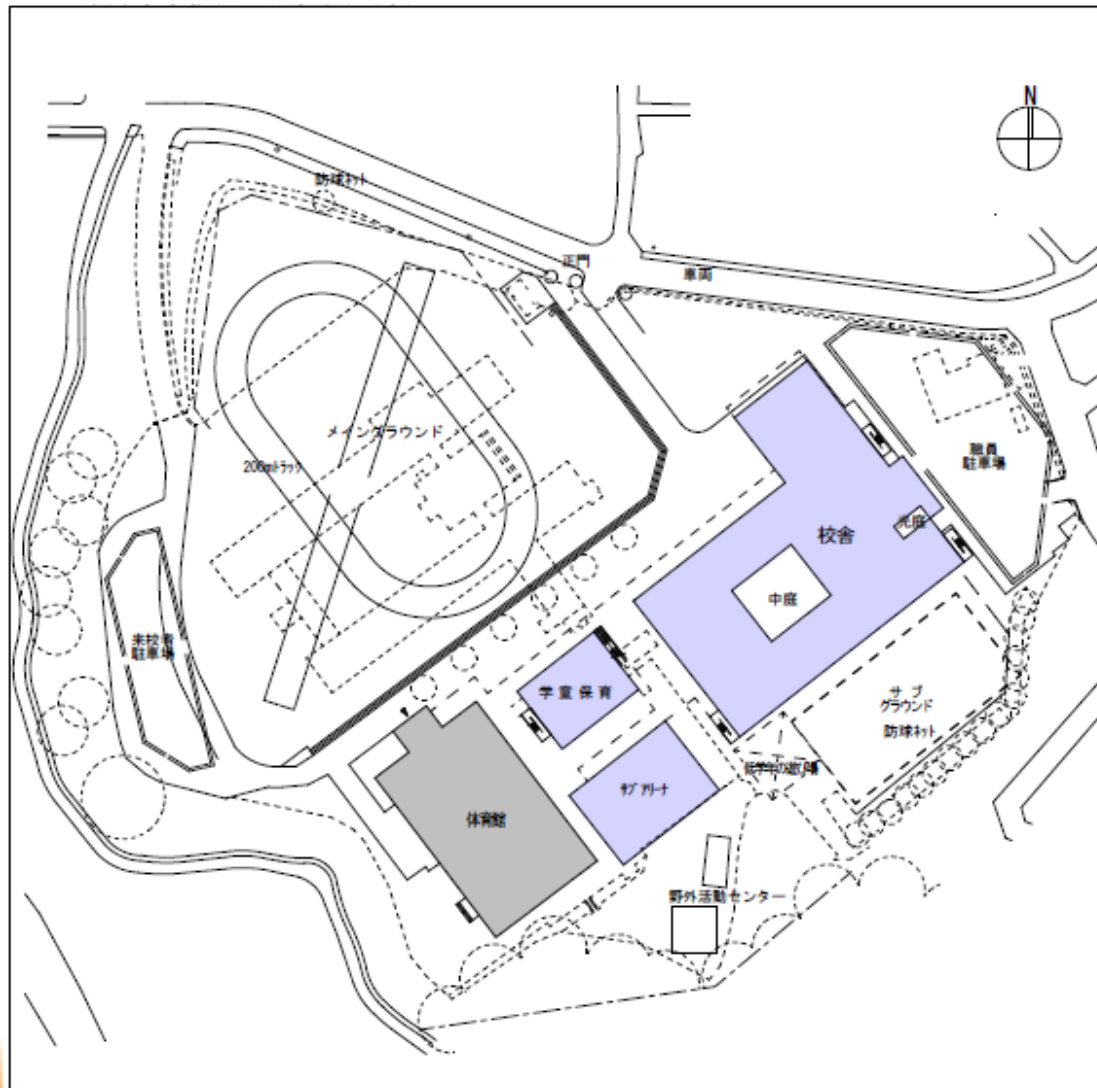
・発注方式について

項目	設計・施工分離 発注方式	DB方式 (設計・施工一括発注)	基本設計先行 DB方式
設計施工期間の 短縮	△ 設計、施工と複数回に分け 発注が行われることで期間 がかかります。	◎ (4か月以上) 設計・施工分離と比べ4か月 以上の短縮が図られます。	○ (2か月以上) 設計・施工分離と比べ2か月 以上の短縮が図られます。
入札不落の リスク軽減	△ 設計図書に基づいて、入札 が行われるため、不落の可 能性があります。	○ 入札が1回で施工者と発注者 との協議で金額が決定します。	○ 入札が1回で施工者と発注者 との協議で金額が決定します。
発注者の 意向の反映	◎ 分離することで発注者の意 向を反映しやすいです。	○ 一括発注のため、施工者の意 向に偏った設計に注意が必要 です。	◎ 基本設計を分離することで発 注者の意向を反映しやすいで す。
発注者側の 責任のリスク 軽減	△ 別契約が多い為、その都度 に成果品への責任が発生し ます。	○ 初めから終わりまで施工者責 任において工事が行われます。	○ 初めから終わりまで施工者責 任において工事が行われます。

3. 小中一体型校整備事業について

- 配置計画について

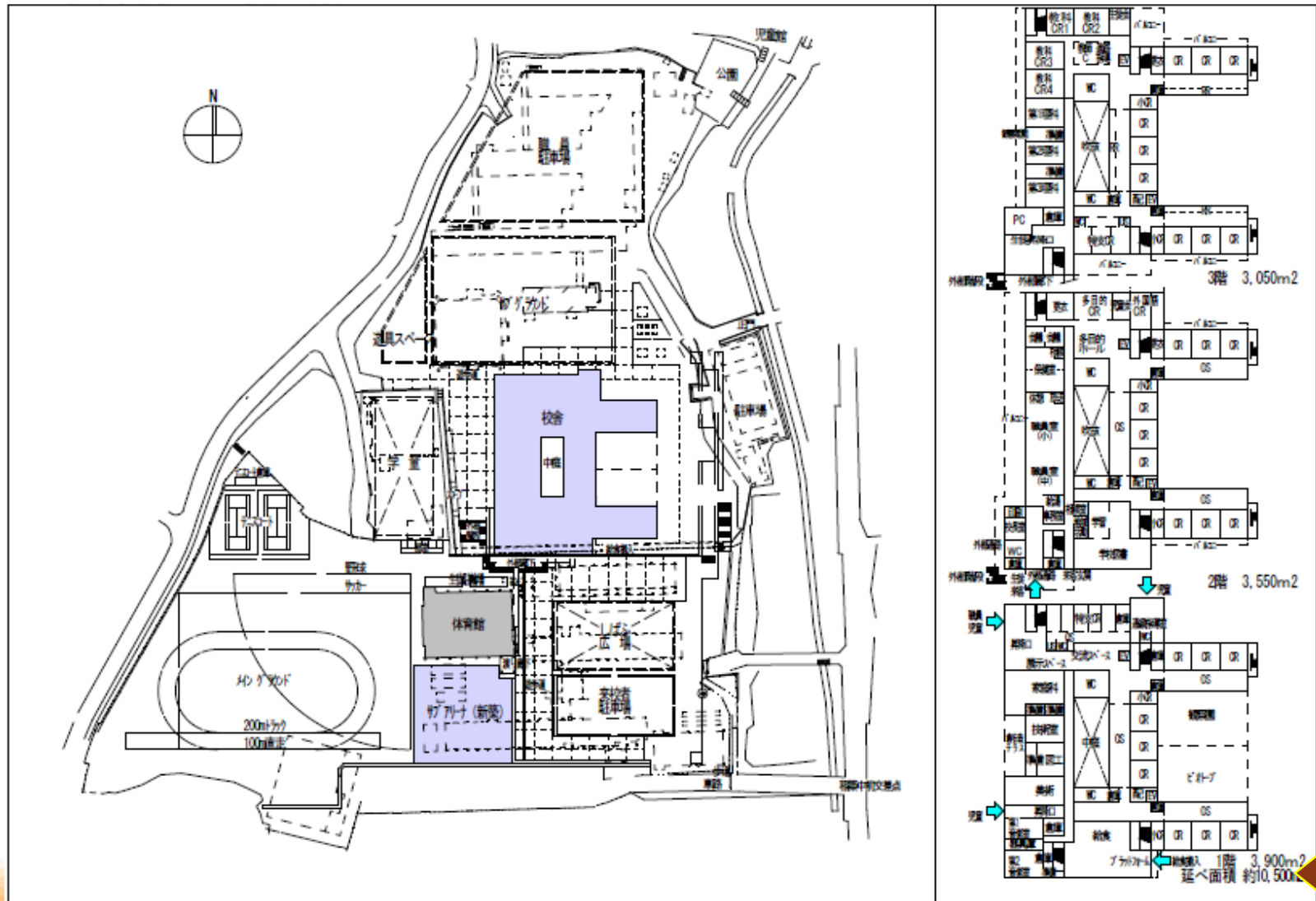
碓井中学校区 配置図（案）



3. 小中一体型校整備事業について

・配置計画について

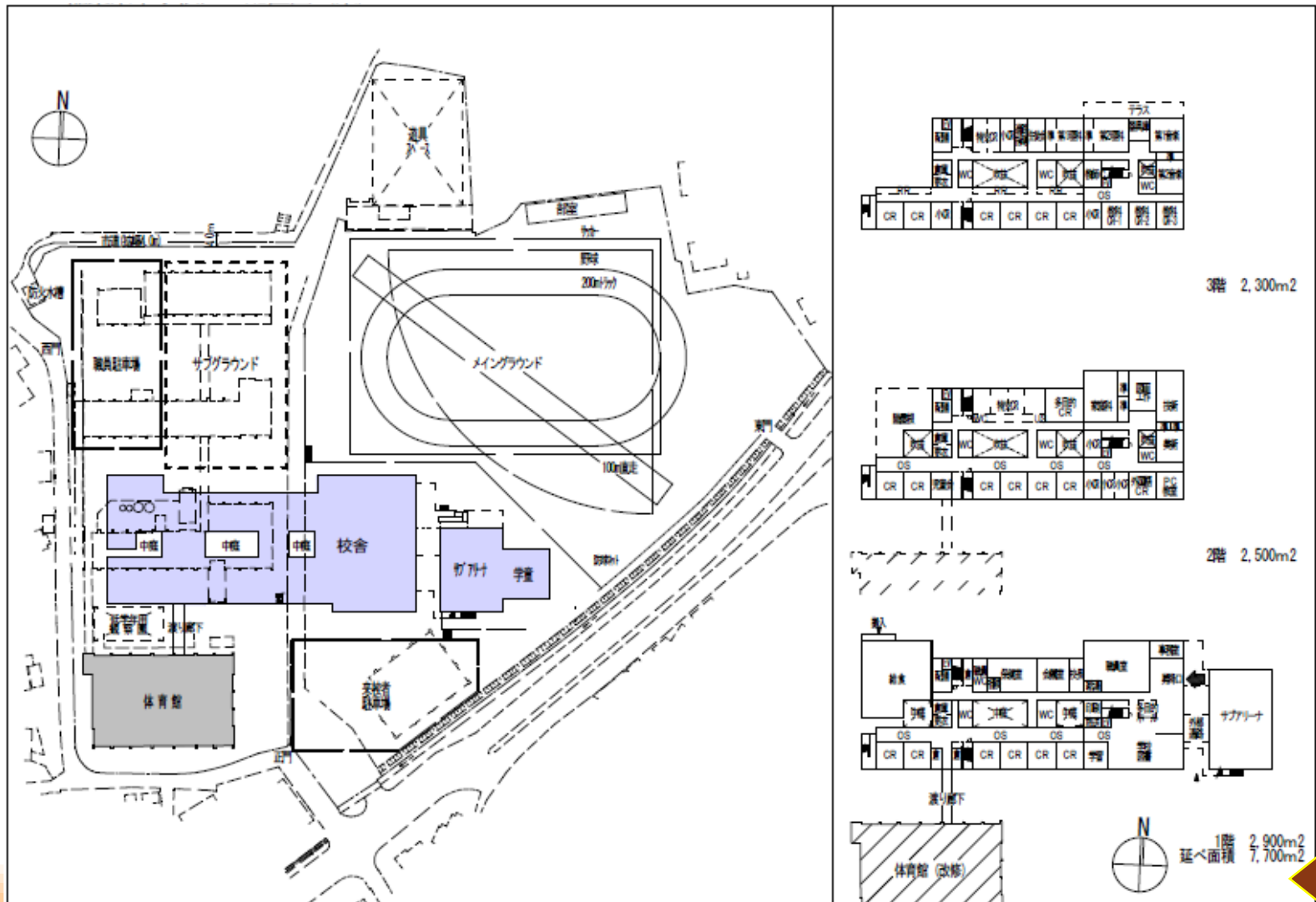
稲築中学校区 配置図（案）



3. 小中一体型校整備事業について

・ 配置計画について

稲築東中学校区 配置図 (案)



4. 学校プール施設整備の方向性について

学校プールの現状

学校名称	建築年度	経過年数 (令和元年度末)	令和元年度 プール使用状況	備考
上山田小	H2.3	30年	中止	R1～
下山田小	H10.12	22年	使用	H29塗装改修
稲築西小	S58.2	37年	中止	H29～
稲築東小	S53.3	42年	中止	H29～
碓井小	H12.2	20年	使用	R1プール本体亀裂簡易補修
嘉穂小	H26.3	6年	使用	
山田中	H15.5	17年	使用	H28塗装改修
稲築中	S60.5	35年	使用	
稲築東中	S61.3	34年	中止	R1～
碓井中	S44.3	51年	中止	R1～
嘉穂中	S61.2	34年	使用	H21塗装改修

※熊ヶ畑小と牛隈小は学校プール未設置校

R元年度使用施設	使用学校数	使用学校
サルビアパーク	3校	熊ヶ畑小、上山田小、牛隈小
温水プールスイミングプラザ なつき	3校	稲築西小、稲築東小、稲築東中

※碓井中は碓井小プールを使用

4. 学校プール施設整備の方向性について

解決すべき課題	解決策（案）
<ul style="list-style-type: none">移動に時間がかかる	<ul style="list-style-type: none">スクールバスを最大限活用し、移動時間の短縮を図る
<ul style="list-style-type: none">水泳授業の時間、回数が少ない水泳授業が分散して効果が減少見守りの教員の配置が必要	<ul style="list-style-type: none">少ない水泳授業回数で最大限の教育効果（泳力向上）を発揮するため、水泳指導員を配置する
<ul style="list-style-type: none">一般利用者と合同だと指導が難しい施設利用が可能な曜日が少ない	<ul style="list-style-type: none">休館日以外に学校専用利用時間帯の設定について検討する（施設利用者への説明、理解が必要）
<ul style="list-style-type: none">プールの深さ低学年プールが狭い	<ul style="list-style-type: none">プールの広さについては対応不可能であるが、深さについては、深さ調整フロア等による対応を検討する（収納場所の課題等）

4. 学校プール施設整備の方向性について

維持管理費の比較（10年間）

学校プールを設置する場合の維持管理費	温水プール使用に係る費用 (全学校が使用した場合で試算)
小学校3校、中学校2校、義務教育学校3校 <ul style="list-style-type: none">小学校維持管理費：約1,000千円/年・校中学校維持管理費：約600千円/年・校義務教育学校維持管理費：約1,500千円/年・校 合計：約87,000千円	サルビアパーク9校、スイミングプラザなつき4校 <ul style="list-style-type: none">施設使用料：約47,800千円送迎費：約11,750千円水泳指導員：約22,000千円 合計：約81,550千円 (差額：△5,450千円)

学校プール施設整備費（改修費）の試算

学校プールを設置する場合の整備費

義務教育学校3校

- 近年の高温化や大気汚染対策を考慮し、屋根付プールを検討
- プール建設費：約3億円/校

合計：約900,000千円

学校プールの改修

- ろ過器更新や循環配管の更新
- プール本体及びプールサイド等の塗装改修 等

改修費：劣化状況に応じて対応

4. 学校プール施設整備の方向性について

- 当面の間は、学校の水泳授業はサルビアパーク及び温水プールスイミングプラザなつきを活用していくこととする。

⇒今後、学校プールに大規模な改修の必要が生じた場合には、当該学校プールの改修は行わず、サルビアパーク又は温水プールスイミングプラザなつきで水泳授業を行うこととする。

- 小中一体型校（義務教育学校）の施設整備に合わせて、学校プールの整備は行わない。